



訪問診療・往診専門

医療  
法人

かさまつ在宅クリニック



かさまつ通信

No.38

令和5年5月

～コロナ5類移行、これから～

2023年5月8日、新型コロナウイルスは第5類感染症に移行されました。  
在宅現場における“これから”について考えてみます。



### 【1】在宅療養これから

コロナ禍では、病院の面会制限等の理由から、在宅療養を選択される方が増えました。病院等の規制は少しずつ緩和される方向になると考えられますが、コロナ禍前のように、すぐには戻らないことが予想されます。当クリニックでも可能な限り、患者さんの受け入れをすすめてまいります。

### 【2】オンライン診療これから

日本経済新聞<sup>(1)</sup>によりますと、徳島県においてオンライン診療可能な医療機関は、35.2%と全国第4位の様です。対面診療を望む方が多いのが現状ですが、感染拡大時の準備を今一度備えておかななくてはなりません。当クリニックは、オンライン診療対応医療機関です。

### 【3】医療 Dx（デジタルトランスフォーメーション）これから

オンライン資格確認については、2023年3月現在、導入が済んでいない医療機関が約4割<sup>(2)</sup>ありますが、電子処方箋と絡めたデジタル化は今後加速するものと考えています。在宅現場におけるオンライン資格確認の導入は、令和6年4月運用開始となる見込みです。モバイル端末を持ち込んで確認する方法が明示されています。

### 【4】在宅医の働き方改革これから

※医師の働き方改革：2024年4月から開始

在宅現場の人材不足の問題は深刻で、複数人配置やフレックスタイム制等の議論はすすんでいないのが現状です。ただ、在宅療養を希望される患者さんが増えているわけですから、対策は急務です。朝日新聞記事<sup>(3)</sup>にありますように『Join』などICTを利用した病診連携も重要になってきます。また、タスク・シフトも解決策のひとつとされています。在宅現場においては、特定認定看護師<sup>(4)</sup>が県内でも誕生しています。特定行為ができる看護師と連携しながら、医師の業務をタスク・シフトしていくのもひとつの方策と考えています。

最後に、平時の連携が重要だとコロナ禍で学びました。病診連携、多職種連携などの【連携】は、5類移行でますます重要視されていくと思います。デジタル情報共有ツール等をうまく使いこなしながら、うまく乗り切っていく必要があると思っています。

(院長 笠松 哲司)

【引用記事】

(1)2023年3月17日、日本経済新聞電子版

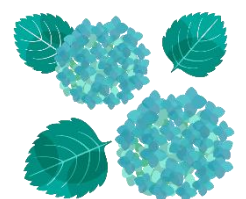
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC076AR0X00C23A3000000/>

(2)2023年3月30日、日本経済新聞電子版

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA175ZE0X10C23A3000000/>

(3)2023年3月29日、朝日新聞電子版(<https://www.asahi.com/articles/DA3S15594962.html>)

(4)特定行為研修とは - 徳島大学看護リカレント教育センター (<https://www.tokushima-u.ac.jp/>)





訪問診療・往診専門

医療  
法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.38

令和5年5月

GWも明け、1年の3分の1が過ぎました。3年にわたるコロナ禍で出不精に拍車がかかり、結局今年のお休みも有効活用できなかった感は否めませんが……。4月29日に開催された徳島城阿波おどりで、少しリフレッシュできました。春の阿波踊りも、桜や新緑の若葉の下で風情がありますね。

#### ◆令和5年1月～3月の活動報告

##### ①1月22日(日) 吉野川保健所 (Zoom 研修会)

令和4年度小児慢性特定医療費自立支援事業

在宅で療養生活をおくる子どもと保護者のための講演会および座談会 講演

「在宅療養中の医療的ケア児と家族の防災対策」



##### ②2月21日(火) 徳島県立総合教育センター

令和4年度徳島県医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修 講師

「医療的ケア児等コーディネーターに期待される役割」

##### ③2月21日(火) 徳島保健所 (Zoom 研修会)

令和4年度小児慢性特定医療費自立支援事業

医療的ケア児の在宅支援研修会 講演

「在宅療養中の医療的ケア児に対する継続的な支援と多職種連携」

##### ④3月14日(火) 香川県・東かがわ市交流プラザ

令和4年度さぬき市・東かがわ市在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療・介護関係者研修会 講演

「当クリニックにおける小児在宅医療を振り返って

～10年間の連携の歩み～」

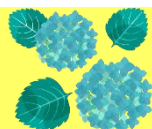


カメラマンさんからいただいた写真です。  
たまたま私が手前のポジションだったので(笑)。

コロナ禍の間、開催が中止・延期されていた研修会があちこちで再開され、医療的ケア児に関する研修会も年度末に多数開催されました。私史上最大の過密スケジュールでしたが、なんとか気合で乗り切りました。医療、福祉、行政等、多くの関係職種の方々に加え、当事者ご家族ともお話する機会があり、改めて連携の必要性和難しさを感じました。

4月からの新年度に向けて、徳島市の保育園や幼稚園、小中学校で医療的ケア児を受け入れるための医療的ケア運営協議会にも、複数回出席しました。こちらでは、教育関係者との協議にもなり、また新たな困難さを知りました。徳島市ではありませんが、私の患者さんも今年度から地元の公立小学校に入学され、学校での医療的ケアを訪問看護師に行ってもらっています。入学前には、実際に小学校までお伺いし、校内の動線や医療的ケアの確認、指示書やマニュアルの作成など、貴重な経験をさせていただきました。今年度は、初めて地元の学校で実施された医療的ケアを振り返りながら、次年度の運営を協議していくこととなります。様々な場面で多職種による支援が継続していけるよう、経験を生かしていきたいと思います。

(小児科 笠松 由華)



〒770-8054 徳島市山城西4丁目13-3

TEL : 088-679-6393

HP : <http://www.kasamatsu-zaitaku.com>

FAX : 088-679-6394



訪問診療・往診専門

医療  
法人

かさまつ在宅クリニック



5月になり、朝はまだひんやり感じる日もありますが、日中はどんどん気温も上がってくる季節になりました。年齢とともに暑さや水分不足の感覚機能は低下してくるため、室内で過ごされていてもこまめな水分補給を心がけることが大切です。

新型コロナウイルスへの対応も徐々に変化し、私達の日々の行動も少しずつ変わりつつあります。県外に住んでいる家族に会えない、といった声も聞かなくなりました。

先日、プロ野球観戦に行ってきました。試合の流れに一喜一憂しながら聞く球場の生の歓声をうれしく感じました。(試合も9回裏サヨナラ勝利でした。)この3年間で身についた習慣をうまく生かしつつ、それぞれが楽しめる機会が増えるといいなと思います。(薬剤師 宮田) (オリックス VS 西武@京セラドーム)



例年、GWは主人の実家で田植えを手伝っていましたが、両親も80歳後半となり、引き受けて下さる方に全面的にお願いしました。嫁いで30年余り、初めて自由行動のGWとなりました。

晴天続きの前半は、大歩危峡や黒沢湿原、あわじ花さじきをノーマスクで散策してきました。外ではほとんどの人がマスクなしでしたが、人の多いところではマスク装着！が徹底されていました。

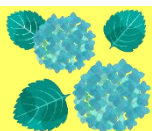
後半は、日頃サボっていた家の片付け。少しでもスッキリ過ごせようと断捨離しました。恐ろしいことに、新婚旅行で着た服(意外と着られます)や妊娠中の腹帯までありました。夫婦の思い入れの違いもあり、捨てるか捨てないかの小競り合いもありました。まだまだ、写真や子どもの作品集などあり、一時中断となりましたが、人生で一番ゆっくり過ごせたGWでした。

みなさまからリフレッシュの時間をいただき、ありがとうございました。(看護師 高橋)

連休も終わり、少しずつ暑さを感じる日が増えてきました。この時期ならではの新茶を楽しんでいる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

先日のお休みに、夫の実家がある香川県へ行ってきました。道中寄った屋島では、山上から高松市や瀬戸内海を一望することができ、神社や水族館もあり、たくさんの自然を感じることができました。コロナ禍以降、外出の機会がめっきり減っていたため、今回は久々の気分転換となりました。コロナウイルスだけでなく、年間を通して様々な季節の感染症もありますので、引き続き感染対策を行っていこうと思います。

最後に、私事ですが、家庭の事情により6月末をもちまして退職することになりました。至らない点も多々あったかと思いますが、たくさんの方々に支えられ10年半の間続けることができました。本当にありがとうございました。(事務 大野)



〒770-8054 徳島市山城西4丁目13-3

TEL: 088-679-6393

HP: <http://www.kasamatsu-zaitaku.com>

FAX: 088-679-6394